まず口と足で傳えよう
全市民的な運動へ

第二回原水爆禁止世界大会は、爆心地長崎で八月九日より三日間厳そかに行われたが、ケロイド姿の被爆者たちの訴えは世界各国の代表者たちの心を大きくゆさぶり、この三日間原水爆を地球上から葬り明るい世界建設を目指す話合が行われた。三鉱労組からもこの大会に七十六名のオブザーバーを送つたが、この人たちがこんご職場や地域でこの大会の模様をつたえ、根深く巾広い運動の一環を担い全市民的な運動へと発展することが期待されている。

想像以上の原爆恐怖

八月二十三日午後五時から教宣部の司会でこの一行の懇談会が行われたが、こん後手をつないで平和運動推進への力になることが誓われた。なおこの席で現地で直接みた平和大会の感想がつぎのように述べられた。

A 地域でいつも団結だ、友情だなどと声をからしていたが、今度初めて大会に行き全然見知らぬ人たちが私たちの歌う中に入り込んで愉快に歌う姿を見て、これこそ団結や友情の道だと思い、最大の成果だつた。

B 集団生活をやつたことは大きな成果でした。

C 出発前酒は絶対イカンといわれたときには腹が立つたが、結局だれも飲まなかつた。普通ならあの程度いわれても飲むのだけれども矢張りみんな一生懸命だつたのだと感心した。

D 原爆の恐怖については理念的には判つていたが、現地で被爆者と直接話をして原爆というものが、一人一人の生活にどのように不幸をもたらしていたかということを痛々感じた。この感激を平和の方向に結びつけなければならないと思いました。

堀下げた討議を望む

E 被爆者の人たちが本当にわれわれの懐にとび込んで来るような対策を考えなければならないと思つた。

F 平和、平和と叫んでいるが一部の人たちだけでやつても何にもならないと思う。各国であゝいう大会をやつて貰いたい。

G 一番印象に残つたのはポーレス（ソ連）さんとあつたことだつた。社会主義社会に住んでいる人かと思うと一ぺんで親しみが湧いた。

H 地元の人の話だが、地元の平和運動は年々さびれているそうだ。それで今後は地元の労組に協力して貰わなければ平和運動が発展しないといわれていた。そしてわれわれからの手紙を欲しがつていました。

I 折角諸外国の代表が集つたのだからもつと堀下げた討議をして欲しいと思う。あの大会の空気では何だかウワすべりのような気がした。

多くの報告書を

J 討議された内容は世界的な連帯がなかつたが、結果は大きな成果があつたと思う。こん後は各校区毎にできるだけ多くの報告会を開きたいと思つている。

K 非常に残念に思いましたのは被害者の人と直接会つて話をされなかつたことでした。せめて一人でもよいからこちらに呼んで大会場などで発表されない気持を市民と話合つて、その上で平和運動を進めて行けばと思います。

L 現地のナマの声は非常に効果はあるが、また困難だろうと思います。地元の人は見世物にはなりたくないという気持があり本当に理解してくれる人でない限り勇気のいる仕事です。それに現実はやつと被爆者の人達の結成が長崎で出来たという実状ですし結局当面の問題としては大会に参加した私たちの足と口で多くの人に模様を伝える以外にはないだろうと思います。

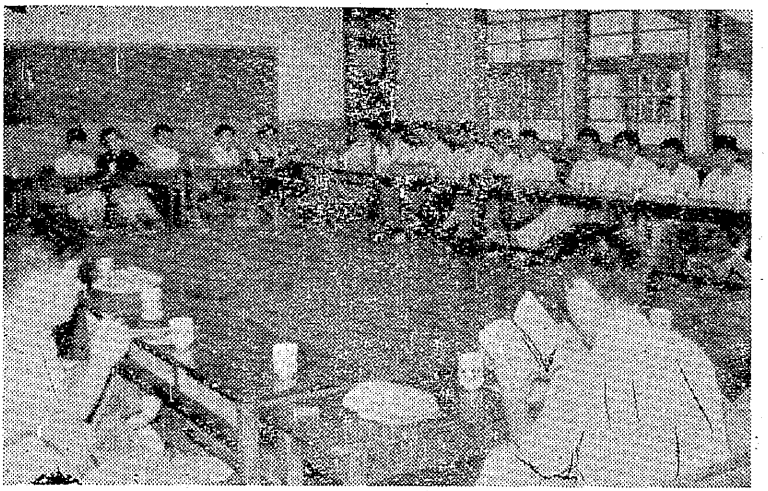
平和大会は今からだ

M 若い人と会つて感じたことは若い人に希望というものが殆どないようです。被爆者のゆえに職安にいつて職を探しても職がないそうです。

N 仕事をしても非常に体がきついそうです。就職、失業、治療の問題が非常に悲観的です。

O 大会参加のため資金カンパをやつたが、いま考えてみると平和のことを訴えるという情熱が足りなかつたと思う。

それから三日間の天幕生活をして苦労を分けあつたのだから、今後もバラバラにならないよう手をつなぎ合つて行き、この中に他の多くの人を引入れて行きたい。そして原水爆禁止大会は今からだという気持で地道に巾広く根深く運動しなければならないと思う。



平和大会参加者で懇談会

もうあんな事は
参加者の日記から

最近数回となく聞く悲しい知らせそれは原子病による被爆者の人たちの相つぐ逝去である。被爆十一年目の今日もなお白血病やケロイドに苦しむ被災者たちは、悲惨な死との闘いを続けている「生きることは苦しい!!」と訴える原爆被災者たちのこの深刻な血の叫びを聞き、心の底から原爆許すまじの怒りが燃えてきます。先日行われた平和大会に参加された三作支部組合員の日記からこの日の感想を抜萃してみました―

【八月八日】夕食、入浴を終えてベースキャンプ横の広場に集合、大牟田地区参加者の前夜祭が開かれる。三鉱六支部のうたごえ交換、長崎の夜星に元気なうたごえがひびきわたる三作サークルが原爆への怒りをこめたシュプレヒコール〃夏雲に乗つて〃を上演する。「傍聴の一長崎市民」と称して何とか労組の役員のオツサンが感激して一席挨拶を申出る。被爆当時のもようをル語るそのオツサンの口調が変なので傍のA君「アイツ、スコシ飲ンデルジャーネエーカナ…」とささやく。そうかもしれない。だがそれでもいいではないか。あの当時のむごたらしさをふたたびくりかえしてはいけないと痛感している長崎市民の代表に改めて敬意と同感をよせよう。

【八月九日】午前十一時二分、運命の時刻が訪れると町中のサイレンや鐘が一齊にひびきわたる。深い黙祷をささげる。十一年前この瞬間に忽ち阿鼻叫喚の場面が展開されたかと想像すると胸がいたくなる。妻子を失つた作曲家木野普見夫氏の〃平和は長崎から〃がブラスバンドと高校合唱団によつて演奏され、慰霊祭は熱をおびてくる。全国代表、世界各国代表があふれるうちに長崎市長による「平和宣言」が読み上げられる。終ると同時に〃平和の鳩〃十数羽が一齊に空高く舞上る。劇的な一瞬であつた。（A子）

【八月九日】俺一人の考えだが原爆慰霊祭に参加して思つたのは、集る人々はどんな気持ちで参加しているのだろうかと…。よく着飾つている連中をみると、連中達は心から原爆を反対しているのだろうか。それとも参加することが英雄とでも思つているのだろうか。原爆反対が社会の常識だからだろうか 俺には解らなくなつた、霊を慰めるのもよいだろう。しかしその死に方が違つているのだ。（K生）

中小鉱の育成強化
颱風被害者の救援決定

九炭労では八月二十日午後一時より福岡市労働会館で第十八回地方委員会を開催し、いろいろと討議した結果八項目に亘る各議題を確認した。その中で主として論議された問題は、組織対策費の組合員一名当り五円を九月末迄に九州炭労へ納入すること、台風九号で全社宅に被害をうけた高島労組、ならびに端島労組を対象として各組合任意のカンパを九炭労へ早急に送ること等を決定、さらに政治局、山本参議、多賀谷代議士からの挨拶をうけ、第十八回地方委員会を終了した。

議長に土屋氏

会議は構成人員七八名中、四一名出席して成立、司会者挨拶を遠藤次長より行い議長には土屋政則氏（日炭高松組合長）を選出、書記任命には小倉、大場、野中、馬場以上四氏を決め会議を進めた。

山本参議挨拶

七月八日に行なわれた参議定期改選では皆様の絶大なる御支援により好成績で当選することが出来ましたことを御礼申上げます。当面の問題としてはスト規制法の延長、労働組合に対する弾圧対策など重要な問題があります今後共皆様の御支援と御協力を願い、反動立法粉砕のため闘つて行くことをおちかいして挨拶を終ります。

以上の挨拶終了後、梅原大峰組合長より闘争支援についての謝意の挨拶がなされた。

訪中国代表を決定

一般経過報告は遠藤次長より第七回定期大会以降の加入脱退について報告され、中国派遣の人選については、大手三名、九共闘三名、中小二名、執行部一名と決め各ブロツクで選衡したが結論の出ているのは九共闘、貝島、杵島、大正中小は飯野、佐賀大手は希望四支部があり再三話し合つているが結論出ず、本日三井、三菱、明治の代表者会議で話し合うことになつている。なお執行部からの一名は勝野事務局長が決つている。

以上の経過が執行部から報告されこれを確認した。

不当選挙違反と闘う

選挙違反で田川労組、嘉飯、山田地区が調べられ、つづいて九炭労が盆休みに捜査されてビラその他が押収された。これに対し抗議を行い、ただちに対策を協議し今後組合員に対し参考調書をとる場合の対策として責任は組合幹部がもち、下部組合員には波及させず全部九炭労が責任をもち、ビラの合法性を主張しあくまでも組合活動の一端であり、機関紙宣伝活動にすぎない。以上の方針で行くことを確認した。

京の上闘争を確認

この後、京の上闘争、宏安闘争妥結ともに確認、飯塚オートレース設置反対闘争など一般経過報告を確認した。審議事項に入り、弾圧対策会議の設置、労働学校開催の講師変更、総評大会代議員定数がそれぞれ確認、決定された。組織対策費については種々論議の結果、組合員一人当り五円を納める事を確認、決定した。その他では三池カンパ未納支部は早急に納める事が確認、高島労組の台風災害状況の報告があり、労務加配米廃止闘争を夫々確認して地方委員会の幕を閉じた。

決議機関の使命 アンケート

三山共同デスクは今年度になつてからはじめての発刊である。前号では各山の組合長からアンケートをとつたが、今回は組合の立法府ともいうべき決議機関の議長に白羽の矢を立てた。

討論のつみかさねを
山野議長 川端深浄

三山労組の共同編集でこの様なテーマで開き直られると云い分がありそうで書き分がなく恐れ入つている次第です。組合としての機能（ハタラキ）が、アメリカの資本主義により支配されている日本経済（日本型資本主義とでも云うべきか）の中にあつては、闘いをヨギなくされ闘いの中から前進を見出して行かねばならない事は過去幾多の自己批判の中から、ミズカラの肌に感じて指向して来たところであります。この事が執行、決議機関を含めた組合の運動を律する根本原則とならねばならないと思います。そのためには組合員の基盤の上に立つた的確な判断と指導と見通しに依つて常に有機的な動きをしなければならないとするならば、字義通り、決議してそれを執行すると云う事はあまりにもアジがなさすぎると思います。決定事項を機関が常に監視する事は当然の事でありますし、その前に考えなければならない事は執行部がより有機的、能動的に闘う態勢を作り、進めて行く為の、或いは闘いを組まなければならない様な決定なり討論を常に機関（組合員を含めて）が用意して置かなければならないと思います。大変いやな突唐な言い方ですが御用組合を作るのに執行部を買収した話は聞きますが、決議機関を買収する話は笑話にもなりませんし何かこの変に問題点がある様に思えるのです。問題だけを提起して切り上げるのはヒキョウかも知れませんが要は決議機関と執行機関のハタラキの中の重要な部分をお互が占めて行かなければならないと思います（お互のハタラク分野をオカスと云う意味でなしに）

最後に組合員と家族の生活を守る闘いを組む上により多くの討論を積みカサネた上に諸事項の決定がなされてゆく事が自明の事であり、それが近年組合員に真剣に取り上げられて来た事に注目したいと思います。

意志疎通が先決問題
田川議長 前畑又市

組合員を動員するあらゆる行事に組合員の参加が非常に少ない。これを極端にいいあらわすと、組合に関心をもつた組合員が少ないのではないか。最近の組合運動は執行部並に決議機関に一任された感がある。これでは組合の発展はあり得ない。闘争時には組合員全員が立上り、職場闘争を展開しなければ本当に根強い闘争は出来ないと思う。ではどこにこの欠陥があるのか、組合員との意志のソツウがなされていないことだ。

決議機関は自分一人で決議するのみでなく、執行部同様指導者の一員でなくてはならない。情宣によつて闘争の意義、職場地域の組織活動によつて周知徹底させることこそ決議機関の任務ではないかと思う。組合活動によつて組合員との話合の場を作る事によつて発生する問題こそが一つの職場から地域から支部へ要請され、さらに支部で解決出来ない問題は、組合本部で解決しなければならない。

このようにして下部から上部団体へ広がり、六山の統一闘争が出来てこそ組織の前進があると思う組合の執行部、決議機関、組合員が相互に協力して行くこと、すなわち決議機関の諸君は機関の決定報告を完全に行い組合員は職場でよく話し合い、それを職場ごとに執行部に要請し、意志のソツウを図ることこそ、当面する重要な問題ではなかろうか。

決議機関の諸氏がよき指導者となつてこそ、強い組織が出来ることを確信してやまない。

勇氣とえい智を出して
三池議長 甲斐 語

組合運動過去十年を顧みますれば、幾多のう余曲折を経て現在に至りその発展と成果は名実ともに泰山の感であります。これは各人一人々々の努力と組織人としての意識昂揚の賜であります。然しながら現下の状勢を冷静に観察すれば、誠に憂うべき非常時態に立ち至つていることを察知せねばなりません。保守陣営はわれわれ同胞の血と涙の叫び沖縄問題、或いは千島返還問題等すべて良心的解決の努力がなされず徒らに無能ぶりを暴露し、煙の中のなしくづし戦法に終ろうとしています。内にありてはスト規制法、労働法改悪等労働者の上にのみ重圧を加えて顧ることを知らない政府官僚汚職収賄実に枚挙に暇がない。一方今回を期して資本攻勢はこれら保守の牙城を頼みとし来るべき労働問題期闘及び賃闘に今迄の戦術を転換そのほこ先を各個撃破に向けるよう着々と準備を進めている現状です。われわれはよくこの状勢をみきわめ、眼前の小利のため大局を誤るが如きことのないよう勇気と叡智が今日程必要とされる時はありません。辛酸十年、営々として築き上げた三鉱労組はこの機において九尽の功を一気に欠くの嘆きを残すが如きことがあつてはならない。足元の充実は勿論同志田川山野と相携え組織強化の再点検に重点を指向し、来るべき闘争の戦列参加に万遺憾なきを期すべきであります。